

# 建設委員会 議会報告会報告書

報告日：令和6年9月5日

出席者	参加者	21人	
	議会側	<b>【建設委員会】</b> 中川委員長、向井副委員長、鈴木委員、坂元委員、乗越委員、牧尾委員 <b>【委員外議員】</b> 奥谷議長、原田議員、小池議員、中曾議員、片山議員、景山議員、岩崎議員、玉川議員、北林議員	
	開催日時	令和6年8月1日(木)15:00～16:30	
	開催場所	黒瀬保健福祉センター	
実施内容報告	議会報告	テーマ	東広島市の治水対策について
		概要	流域治水プロジェクト、流域治水の基本的な考え方、黒瀬川水系流域治水プロジェクト、黒瀬町内における現在の東広島市の取組み(浸水地域河川排水用可搬ポンプの運用、利水ダム等における事前放流の実施・体制構築、農業用ため池の雨水貯留施設への転換)、これまでの執行部とのやりとりについて説明を行った。
	意見交換	テーマ	東広島市の治水対策について
		河川・ため池の管理、河川の改修等について	
		<b>【相手方意見】</b> ① 市が管理する河川については各地より改修要望も多いと思うが、調査して計画的に改修していく必要があるのではないか。 ② 管理されていないため池があり、動物等に荒らされてそのままになっている。市の方で管理できないのか。 ③ 災害復旧工事において、せっかく復旧してもらったのに次の大雨の時に、改修された前後の部分において崩れることがある。再び工事が必要とならないような工事にしてもらいたい。 ④ 河川の改修において、曲がりくねった場所が多いので、そこは、まっすぐにすることができるのであれば、お願いしたい。	
		<b>【議会側意見】</b> ① 市が管理する河川については改修を行っているが、進捗は遅いと感じている。 ② ため池については、広島県が主となって調査しているが、市としても把握するべく、県と情報共有し進めるべきと考える。 ③ 現状復旧工事に加えて、今後の予測も見込んだ改良工事とするべきと考える。 ④ 具体的な計画は把握していないが、今後の取組みに生かしていきたい。	

<p>実施内容報告</p>	<p>意見交換</p>	<p>災害時について</p> <p><b>【相手方意見】</b></p> <p>① 山崩れ時、その要件として家屋の数など、結構厳しいので緩和措置をしていただきたい。</p> <p>② 今年6月に大雨があった時に水位が少し上がっていたが、先ほど説明された排水ポンプの利用状況がどうだったか検証が必要である。</p> <p>③ 西日本豪雨災害の時は被害が広範囲で他の自治体等もひどい状況だったので、黒瀬で災害が起きたことも理解するが、令和2年の大雨の時は八本松(上流域)で時間雨量が50mm(西日本豪雨より少ない)であったのに黒瀬でも少し氾濫があった。降った雨が一気に黒瀬川に流れるのが大きな課題であると考えているが、今後宅地開発をする際も調整池をどのように確保して開発するのか。</p> <p>④ 川の氾濫を防ぐためにも調整池機能の維持のため、開発指導課などの担当課がある程度の制限を設けることも検討していただきたい。</p> <p>⑤ 西日本豪雨災害の時もゆめタウン黒瀬の周辺が浸水したが対策は何が行われてきたのか、また今後どのようなことが行われるのか。</p> <p>⑥ 安芸津みたいに川の拡幅をすることで氾濫しないようにするのも1つの方法ではないか。</p> <p>⑦ 大雨の場合、車などでの放送はあまり聞こえない。一番見るのはNHKなどのテレビだと思うが何か連携はできないのか。</p> <hr/> <p><b>【議会側意見】</b></p> <p>① 急傾斜地の支援緩和を行ったこともあり、その他の要件緩和についても問題意識を持って取り組んでいく。</p> <p>② 執行部に確認する。</p> <p>③ 気を付けていると思うが50戸連たんの制度もあり全ての調整池に対応するのは難しい面はある。</p> <p>④ 執行部に申し伝える。</p> <p>⑤ 今日説明した可搬型の排水ポンプや田んぼ等の上流での貯留機能の強化がそれに該当すると思うが、その他の点について執行部に確認する。</p> <p>⑥ 参考にする。</p> <p>⑦ テレビよりも防災ラジオが東広島の詳細な情報が入手できるのではないかと考えている。スマホ(市民ポータルサイト)の活用やライブカメラで河川の状況も確認できる。</p>
		<p>田に設置されている太陽光発電パネルについて</p> <p><b>【相手方意見】</b></p> <p>田んぼダムも治水対策の一つではあるが、その田んぼに太陽光発電パネルが敷き詰められている現状がある。川の上流部において大雨が発生した時、太陽光パネル設置以前は田んぼが貯留機能を持っていたが、その役目を果たすことができなくなり下流域における水量の増大による災害発生の懸念の一つである。また土砂災害等が起き太陽光パネルが壊れた時、有害物質等を含んだものが流出して環境汚染につながる場合も想定される。よって早急に太陽光発電パネルについての条例を制定していただきたい。</p> <hr/> <p><b>【議会側意見】</b></p> <p>環境問題と合わせて考える課題としてとらえる。条例制定に向けて努力してまいる。</p>
<p>その他 特記事項 (感想・意見等)</p>		<p>参加者については、地域を担っていただいている高齢の男性が多いものと感じる。 男女問わず、幅広い世代の方にもご参加いただきたいと考える。</p>

# 建設委員会 議会報告会報告書

報告日：令和6年9月5日

出席者	参加者	28人	
	議会側	【建設委員会】中川委員長、向井副委員長、大下委員、鈴木委員、坂元委員、乗越委員、牧尾委員 【委員外議員】奥谷議長、上岡議員、下向議員、原田議員、岩崎議員、玉川議員、宮川議員、石原議員	
	開催日時	令和6年8月6日(火)15:00～16:30	
	開催場所	安芸津生涯学習センター	
実施内容報告	議会報告	テーマ	東広島市の治水対策について
		概要	流域治水プロジェクト、流域治水の基本的な考え方、三津大川水系流域治水プロジェクト、安芸津町内における現在の東広島市の取組み(宮崎川西側バイパス水路、三津大川改良復旧事業)、これまでの執行部とのやりとりについて説明を行った。
	意見交換	テーマ	東広島市の治水対策について
			流域治水プロジェクトについて <b>【相手方意見】</b> ① 田んぼダム、ため池の改築などをメインに考えられているが、農業後継者がいない現状を踏まえた上で、農業とも連携して施策を進めてもらいたい。 ② 三津大川の川床には大小の石ころが多いことから、この特徴を良く理解した上で、各部局と調整しながら工事を進めていただきたい。また川幅が拡幅されるが十分なものにしていただきたい。 ③ 賀茂川は定期的に浚渫を行っているが、高野川は浚渫がなかなか進まない。 ④安芸津の治水対策において、三津大川、宮崎川が重点となっているのは理解するが、木谷や風早、小松原といったところにも川はあり、周辺の川にもしっかりと気を配って欲しい。一部始まってはいるが、そういった河川への高潮対策にも早く取り掛かって欲しい。周辺部の声は届きにくい。 <hr/> <b>【議会側意見】</b> ① 建設関係部局のみならず、農林水産課などと共同で進める案件と認識。 ② 川の特徴について詳しく教えていただき感謝するとともに、今後の委員会活動に活かしていく。 ③ 県の管理河川ではあるが、地元県議を通じても要望を上げていく。 ④ 意見交換の場というのがやはり大切だと感じる。どんなことでもいいので声を掛けていただけると皆様のご意見を酌み取りやすい。

実施内容報告	意見交換	<p>高潮対策・災害対応について</p> <p><b>【相手方意見】</b></p> <p>① 台風19号の時、高潮も相まって船がガードレールを越してきたこともあった。三津湾の防波堤工事が水害対策のために止まっている状況なので早急に再開し、しっかりと設計されたものにしていただきたい。</p> <p>② 災害時に、交通網が寸断され、陸の孤島となった時に市はどのように対応されようとしているのか。</p> <p>③ 宮崎川のバイパス水路の容量は大丈夫なのか。</p> <p>④ 大田地区の復旧工事にあたり、11トンの大型ダンプの交通があり、道が傷んでいる。</p>
		<p><b>【議会側意見】</b></p> <p>① 災害対応を優先しているところではあるが、ご意見として受け取り取り組んでいく。</p> <p>② 対応策については検討が必要と考える。</p> <p>③ 河川の流量を計算し対応しているので、大丈夫と判断する。</p> <p>④ 工事後に補修を行うようにはなっているが、現状を確認し、応急処置が出来ないものか要望していく。</p>
		<p>河川の情報および地域の管理について</p> <p><b>【相手方意見】</b></p> <p>① 木谷郷川の改良後、水位を計測するものをつけられたようだが、地域住民にも情報が伝達され、避難への対応ができるようにしていただきたい。</p> <p>② ここに限った話ではないのだろうが、大田地区の市道の法面の草刈り作業を地元で行っているが、高齢化も進み、人もおらず、今後のことを心配している。</p> <p>③ 大田地区から黒瀬へ抜ける道沿いの沿道の木が大きくなっており、災害時の倒木を懸念する。</p> <p>④ 別の地区だが、道沿いの竹の成長が早いこともあり、処理に苦慮している。</p> <p>⑤ 風早の川の草が茂っており、誰が管理すべきかで地域で困っている。</p> <p>⑥ 大田を流れる川について支所に問い合わせたところ、市の管理ではないからと素っ気ない返事であった。</p> <p>⑦ 職員の対応について、地名で問い合わせても地名を分かっていない職員がいる。もっと地域を分かった気持ちの通う職員であって欲しい。</p>

実施内容報告	意見交換	<p><b>【議会側意見】</b></p> <p>① 今後の対応について確認していく。</p> <p>② 現実、市の管理だけでは間に合わず、地域の方々の力を借りているところがある。地域の高齢化も進む中、除草剤の活用等も含め、対策を考える必要がある。</p> <p>③ 山道の倒木対策であるが、民地が含まれている可能性もあり、詳しく調べさせていただく。</p> <p>④ 予算の関係で除草作業の回数が制限されているが、交通量の多い道沿いの竹を切る作業などは危険を伴うため、危ない箇所については回数を増やす等の対応を執行部に要望していく。</p> <p>⑤ 現地を確認し、県への要望を行っていく。</p> <p>⑥ 県管理の河川とはいえ、市が知らないということにはならない。今後そういった対応が現実にあるのなら、改めて連絡を頂ければ確認をしていく。</p> <p>⑦ 自治協の関係で、地域に密着した職員の配置も始まっているが、ご意見を頂いた課題について、それぞれの支所出張所で意識をより高く持ってもらうよう伝えていく。</p>
		<p>その他</p> <p><b>【相手方意見】</b></p> <p>① 的確な避難行動のためのソフトの充実について 市全体に避難指示が出た時、山間部と沿岸部ではその気象状態は全く同じでない。もっと地域に根差した的確な情報を出してほしい。</p> <p>② 安全安心のまちづくりについて 安全安心に住める町になった後には、どうやって人を増やすかを考えてほしい。小学生の児童数は多い時の1/6から1/4に減っている。後継者も結婚後は中心部に出ているのが現状である。</p> <p>③ コンパクトシティについて コンパクトシティを目指すのであれば周辺地域の魅力ある豊かな地域特性の情報発信をしてほしい。</p> <p><b>【議会側意見】</b></p> <p>① 対応策については検討が必要と考える。</p> <p>② 安全安心も重要であるが、同時並行で行う施策と捉え取り組んでいく。</p> <p>③ 各地域に地域別計画はあるが、漠然としているため地域の特性をしっかりと出して選んでいただける町づくりになるよう議会活動につなげていきたい。</p>
その他 特記事項 (感想・意見等)	<p>参加者については、地域を担っていただいている高齢の男性が多いものと感じる。 男女問わず、幅広い世代の方にもご参加いただきたいと考える。</p>	